

党大会、来年御代替り後の 参議院選挙へむけて挙党一致の合意

平成30年12月号(260号)
(皇紀2678年) 毎月1日発行

新風

編集人 瀬戸 開

発行人 魚谷 哲央
年間購読料 2,000円

維新の党・新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
<http://shimpu.jp.org/>
otayori@shimpu.jp.org

去る十一月十七日(土)、維新の党・新風平成三十年党大会が東京都渋谷区・代々木会議室(神社本庁傘下・日本文化振興財団運営)二階会議室で開催された。昨年は党内事情により党大会を行わず、各県個別懇談会の開催であったので、二年ぶりの党大会である。北は秋田、南は佐賀から地方本部・準備会の代議員や一般党員・党友・後援会員の参加、そして来賓の諸先生方の御臨席を得て午後一時に開会された。



西村 真悟 先生



小林 路義 先生



戸塚 陸男 先生



南出喜久治 先生



仲村 覚 先生



中矢 伸一 先生

第一部全国代議員総会は、遠山野薔薇元千葉県本部代表の司会で開会が宣せられ、国歌斉唱(正式に二回斉唱)の後、三浦小太郎東京都本部代表・本部副代表が開会の辞を述べて、緊張感を伴ひながらも進行された。

次に党物故者慰霊式に移り、参加者全員が黙祷を捧げた(地方本部・本部役員の物故者名簿が全員に配布済)。

次に司会者より議事進行にあたる議長に板東義宣本部副代表を指名する旨の提案があ

り、全会一致で承認された。指名を受けて板東義宣氏が議長席に着き、最初にこの代議員総会が党則第十三条に即して成立してある旨の説明があり、議案審議に移った。

先づ多胡義昭本部事務局次長から平成三十年活動報告(後掲)・会計報告があつた。会計報告は十月末時点での仮報告であり、十二月三十一日メの決算は平成三十一年早々に監査を受けて選挙管理委員会に提出することとなる。

次に一昨年名古屋の党大会で魚谷代表から提案された本部代表選挙規定変更案について、改めて魚谷代表から三案(後掲)の提案趣旨説明があつた(既に昨年・本年のプロック会議で議論済)即投票に移つたが、議長開票の結果、第

二案の「現状通り代議員のみ投票権」(但し、欠席代議員の事前投票を認める)に決定された。次に平成三十一年活動方針(後掲)について魚谷哲央本部代表から、一にも二にも平成二十二年以来途絶えてある参議院選挙比例代表への五度目の挑戦を果たすことに尽きる旨の説明があり(確認団体として比例区二名・選挙区八名)、全会一致で承認を受けた。議案審議が無事終了して議長が退席した後、児玉一成神奈川県本部事務局長による力強い決意表明(本紙二面「人」欄)にその原稿を掲載)は、会場の拍手喝采を受けた。

続いての来賓挨拶は、恒例とも言へる小林路義先生(講師団 鈴鹿国際大学名誉教授)から二十三年に亘る党の持続性への評価と今後への期待の言葉を頂戴したが、先生は結党大会を除いて全党大会に御出席戴いてゐる。

暫時休憩の後、第二部・新風躍進の集ひが午後二時三十分から第一部と同様に遠山野薔薇氏による司会で開会された。この第二部は来賓の諸先生方からわが党に対する激励の挨拶を頂戴する趣旨である。最初に板東義宣・第一部議長が第一部の報告を兼ねて開会の辞を述べて進行。

先づ南出喜久治・国体護持塾々長(弁護士)が御持論の憲法論、次に戸塚陸男・大義研究会々長(講師団)が杉本五郎中佐著「大義」について、三番目は仲村覚・社団法人日本沖縄政策研究フォーラム理

新風驟雨

しんぶうしゅう
十月、日本政府が韓国に輸出されるフッ化水素を承認しませんでした。フッ化水素はガラスの化学加工(フッ素管・等)半導体製造時のシリコン酸化膜のエッチングに用いられ、日本の企業が100%製造してあるため韓国のサムスン、SKハイニックスでは在庫(四十日分)が切れ次第半導体製造が不可能となります。▼今回政府が輸出をしなければならぬのは、フッ化水素が北朝鮮の核兵器製造に使用されたためとみられます(韓国が横流し)。▼現在、韓国は経済が崩壊しつつあるため、ドルを必要とす慰安婦・徴用工問題をデッチあげ、個人請求権・日韓通貨スワップを求めてきます。そのため日本企業は三菱重工が韓国から撤退し、富士ゼロックスも来年撤退します。▼日本の企業が韓国から総撤退したらどうなるか?サムスン、SKハイニックスの半導体製造機械は日立国際電気・東京エレクトロン;等日本の製造機械を使用してあるため半導体は製造できません。またヒュンダイの自動車はエンジンが三菱製、サムスンのノートは日産車を造つてあるため自動車も製造できません(韓国では自動車のエンジンの加工技術がないためエンジンの製造もできません)。造船も同じです。▼過去にはソビエトの原子力潜水艦のスクリュエを東芝機械のマシニングセンターで、現在では中国の原子力潜水艦のスクリュエも日本製の工作機械で加工してあります。▼日本政府はこれらの機械の韓国への輸出をストップすべきであり、ストップすれば韓国は破綻します。

本紙目次

- 一頁: 党大会、来年御代替り後の参議院選挙へむけて挙党一致の合意
- 二頁: 他

(西)